

優しく強い子に！



http://www.minamih.net/18・4・28(土)南NEWS no 13

パスが出て、SHからSBへ落とすのは後半のDFを奪い、疲れたドリブル突破もよりました。清水コーチも常に攻撃は得意です。4月30日も横の狭いみなみ野小での試合で、判断・選択はアイディアが豊富です。それなくして伝えることはできません。

ワンツードン

九州の高校で全国高校選手権で優勝したチーム、東福岡？の試合を国立競技場で観たことがあります。ワンツードンを多用するサッカーをしていました。ワンツードンの意味は、同サイドでパスがワンツーと2本続いたら、逆サイドの相手DF裏へドンとロングボールを蹴り込むという単純な戦術です。でもこのサッカーで全国優勝を成し遂げたのです。九州男児らしい豪快なサッカーをするなど感心したものです。

でも理にかなっているのです。同サイドでパスが続けば相手も寄ってきて逆サイドにスペースができる。そこを狙えというのです。午後練でDFからのビルドアップを練習していると、同じことを言っています。

SB(サイドバック)からSH(サイドハーフ)にパスが渡ればワンツードンと蹴ります。SHは逆サイドを走らせよう。SBは逆サイドを走らせよう。

SHは逆サイドを走らせよう。SBは逆サイドを走らせよう。SHは逆サイドを走らせよう。SBは逆サイドを走らせよう。

清水コーチも常に攻撃は得意です。4月30日も横の狭いみなみ野小での試合で、判断・選択はアイディアが豊富です。それなくして伝えることはできません。

5年生vsみなみ野フレンドリーマッチ

(各20分×3セット) 18・4・14 七国小

- ① 0vs0分
- ② 1vs0勝 (得点=セイジュン、直接FK)
- ③ 0vs0分

《試合前のめあて》素早いプレッシャー、コーチング、アーリーヒットする

《当日の様子》

当日は少女全員がセレクション参加の為、5年生のメンバーは男子8名、強豪のみみなみ野さん相手に、途中交代なしでどれだけフォローし合えるか、チャレンジしました。1セット目は、南の支配率が上回りながら、相手チームGKの度々のファインプレーや、こぼれ球へのアプローチの遅さで、無得点のまま終わります。2セット目では、やはり優勢な支配率ながらも決定力に欠いたまま、終了間際にセイジュン君がドリブル突破中のファールで得



たペのナルティエリアアぎりぎりのFKを、自ら直接ゴールしたのが唯一のこの得点。展開は、位置にいる人へのパスではなく、人とボールの間をすくって、そこからパスを受ける方法(「3つの教室」「渡り廊下」「ワンツードン」)が少なく、課題に挙がっていました。この日の最後は、4年生のキイト君、アイル君の力も借り、この午前にあったセレクション参加者も加わって、南浦選手もやっとなんげかかかってきたのか、めあてのボールへのアプローチが、アールヒットが所々で出始め、得点には至りませんでした。試合のなかで皆が出せた、良かった点を挙げておきます。シュートチャンスを意識して、ゴール前の動きが早かった。ボールキープ力で何度もゴール前まで突破できた。インゴールの安定感が増し、コーチングも増えてきた。無失点で抑えた。この試合の全体的な攻撃力を随所にみせながら、周りへの積極的なコミュニケーションも図れた。

《コーチ所見》

春季リーグのブロック予選を勝ち上がり、これからは強豪との対戦になります。

この日の最終戦で見せた戦う意識を持てれば、チャンスはあはずです。

課題に挙がったパスの受け方、出し方、展開ごとの連動性を、本番までに練習で高めていきましょう。

改めて、飛躍的に成長している少女達が不在では、苦しい展開になるのが実感できました。

南全員で力を合わせて、勝利を目指そうね！

by 田邊コーチ

